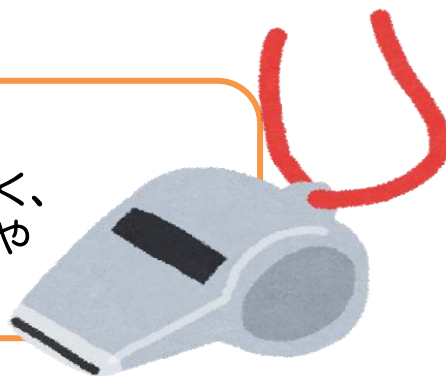


《ホイッスル》

助けを求める時など、声を出し続けることは難しく、体力も消耗します。また、声よりも人の耳に届きやすいという利点があり、防犯にも役立ちます。

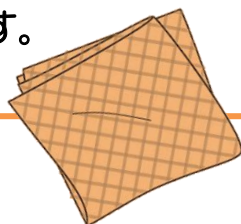


《大きめのポリ袋》

止血等の応急手当や、汚れたバケツや段ボール箱に被せれば水を運搬することもできます。45ℓ以上のゴミ袋であれば、ポンチョ(雨具)代わりにもなり、用途が广いです。

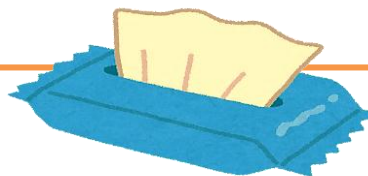
《ハンカチ》

マスクや包帯の代わりにもなります。



《ウェットティッシュ》

水道が使えない状況では、手や顔などを拭くことができます。



リュックやショルダーバッグであれば、両手が空きます。

いかがでしたか。普段持ち歩く物でも、使い方によっては防災用品になります。

大切なことは、普段から無理なく持ち歩くことができるということです。これを機に、バッグの中身を見直し、自分なりの外出時の備えをしてみましょう。

発行者：等々力地区区民防災会議 事務局 世田谷区等々力出張所
TEL03-3702-2143 FAX03-5707-7027

Do It Now!
今すぐやろう!!